

J R東海のリニア・鉄道館を視察見学しました（2）

このたび、J R東海のリニア・鉄道館を視察したのは、主要には超電導リニア車両に関する情報を得るためでした。

2027年にはリニア中央新幹線が開通する予定になっており、町田市に隣接する相模原市緑区橋本地区には、始発駅の品川駅を出たリニア新幹線車両が最初に停まるリニア地下駅が同時に完成します。リニア地下駅は、現在の駅の機能とはさまざまに異なるようですが、例えば従来の切符の販売は行われないうであり、新たな出改札システムが開発・確保されるのでしょう。

さて、このリニア・鉄道館にあるものは、まず、2003年に山梨リニア実験線において鉄道の世界最高速度を記録した、超電導リニア MLX01-1 の先頭車が配置されています。その車両には来館者が自由に出入りをするスタイルになっており、外と中から相互にその全景を見ることができます。ただし、客席に座れないように掲示があります。理由を尋ねていませんが、同じ構造の映像シュミレーション室(ミニシアター)があって、そこでリニア車両の模擬乗車を体感できるために、ここでは観客のスムーズな流れを求めているものと推測しました。

超電導リニア展示室には、超電導で走行する原理や、浮上の原理をわかりやすく理解できる模型があり、それぞれに観覧者が装置を自分で動かし、体感できる機器が配置されていました。

リニア開発の歴史を表した小模型を配置した年表がありましたが、そもそも初期のリニア実験線は、九州宮崎県にありました。1977年(昭和52年)に開設された宮崎実験線で実用化の問題点を整理し、現在の山梨県の実験線が稼働するまで高速走行実験を行ってきたものです。なお、同時期に私は同じ九州に住んでいたことで、それが実用に供される日を待ち望む意識が当初からありました。

2027年、リニア中央新幹線(東京品川～名古屋)が開通した暁には、是非、その車両の乗車を日々の生活で利用したいと思っています。

平成25年8月10日視察 町田市議会 志政クラブ 吉田つとむ